

第6回 新一般廃棄物最終処分場候補地選定委員会 会議録

1 開催日時 令和7年5月7日（水）午後3時30分から午後4時40分まで

2 開催場所 名取市役所議会棟第3・第4委員会室

3 出席者

（1）委員

濱田 雅巳 委員（委員長）、山田 一裕 委員（副委員長）、山口 晶 委員
劉^{ゆ じょん す} 庭 秀 委員、後藤 康宏 委員

（2）事務局（名取市生活経済部環境共創課）

小松生活経済部長、朽木環境共創課長、石川課長補佐兼ごみ減量推進係長、
小山主事、石川ごみ減量推進係主事

（3）オブザーバー

亘理名取共立衛生処理組合 山田業務課長、目黒環境衛生係長
（株）エイト日本技術開発 3名

4 会議の公開・非公開の別

公開で開催

5 傍聴者 3名

6 会議の記録方法

委員名を除いた要点筆記

7 挨拶 濱田委員長

前回同様、評価項目（案）について審議をいただく。候補地選定にあたって、最も大きな検討要素になるので、忌憚のないご意見、ご提言をお願いします。

8 議 事

(1) 詳細調査の評価項目（案）について

資料1に基づき、事務局及び（株）エイト日本技術開発より説明。

以下、委員からの意見等（要点筆記）

<委 員>

非常に分かりやすく整理されたと思う。最終的に総合評価をするとき、◎の数で評価するのか、或いは定量的に評価するのか、どのように想定しているのか。

<事務局>

定量的に示せる項目については数値で示し、定量的に示せない項目についてはコメントを付けた形で示す。そこから、総合評価として絞り込みをかけるに方法については検討中である。

<委 員>

大分類が5個、中分類が13個あるが、例えば、ある項目が全部△、ある項目は全部◎となると偏った評価になる可能性がある。また、中分類の評価基準の内容が1つのものもあれば、3つ列記されているものもある。総合評価の方針を決めてもらわないと、単純に◎が多いからということでは評価の偏りが出てくるのではないか。

<委 員>

各評価項目について、重み付けをする項目が発生するのか、どのように優先順位を付けていくのか早い段階で決めていただきたい。調査等が始まってから重み付けを決めてしまうと、結果ありきで決めたのではないかという疑いが出てしまう。

また、市が住民へ説明をする際、この項目の優先度を高く評価することで皆さんの安心安全を担保する、或いは一般廃棄物の将来にわたる衛生的な処理を続ける」と発信するすごく大事なポイントになると思う。

<委 員>

この委員会の所掌事務は、候補地の選定における方向性に関することとなっている。事務局でたたき台を示し、最後の1箇所絞るのか、可能性が高いものに絞り込むのか、委員会でどこまで決めるのかのスタンスをはっきりさせてもらいたい。

<委 員>

県の産業廃棄物最終処分場候補地選定においては、条件整理と適合性の判断までは外部の委員会で判断し、最終的な判断は行政内部で決定をした。そのような形が望ましいのではないか。

<委 員>

単純に考えると、重み付けは大項目の経済性が1番大きいと思う。ただ、それだけで決めていいのは行政の判断になると思うので、事務局としての重み付けの扱い方も含め、考え方を示してもらいたい。

<委 員>

地盤調査をして、液状化や地盤沈下が発生するなどが出てきた場合には、概算整備費の方で算出する考え方なのか。災害危険性の方にはダブルカウントしないという考え方でいいのか。

<事務局>

ダブルカウントしないように、経済性の方で評価をする。

<委 員>

今回は、既存の地盤データを活用した調査となるが、地盤データをどのように活用するのかを検討する必要がある。工事に向けた実施設計の段階でボーリング調査をするだろうが、その結果この地盤では処分場が建設できないとなれば、候補地選定からやり直しになってしまう。

<委 員>

例えば、災害危険性と自然改変度を比較すると、災害危険性が重視されると感じるが、自然環境を重視する場合は逆になるかもしれない。視点により重み付けの項目が変わってくると思うので、重み付けをするのが非常に難しいと感じる。

また、概算整備費（評価項目）の判断について、◎○△だけでなく、「災害危険性があるため他より高価」といったコメントもあった方が判断しやすいのではないか。

<委 員>

コメントを付すと、悪いコメントが付いているのに○になる可能性があり、◎○△の意味が分からなくなってしまう場合がある。簡便化しないと最終的に評価がまとまらないため、コメントと◎○△の両にらみで同じ項目を評価することはできない。なるべく◎○△で評価すべきだと思う。

<委 員>

運搬時の住環境への影響（評価項目）で、住宅・スクールゾーン・狹隘道路の3つを一括りに整理できればいいが、まずは、1つずつ調査したもので示してもらいたい。項目を分けられるものは、再度整理をしてもらいたい。

<委 員>

例えば、自然改変度（評価項目）の評価基準に記載の「比較的」というのは、基準値となる指標がないのか。評価結果に客観性がなければならないので、評価方法として基準を示すべきである。

<委 員>

宮城県の産業廃棄物処分場の審査の際は、全体のデータの平均値を取って、それよりも大きい、小さいで振り分けをしていた。

<㈱エイト日本技術開発>

5箇所の相対評価で考えており、比較的というのは、平均的という認識で問題ない。

自然改変度（評価項目）に平均の記載がない点については、データのばらつきがあり、現時点で設定することは難しく、調査を進めながら設定していきたいと考えている。

<委 員>

説明が恣意的だと取られかねないので、調査を進めながら評価基準を決めるというやり方はよく考えてもらいたい。

<委 員>

◎○△で評価すると、どうしても比較的という表現しかできないと思うので、5段階評価にした方がよいのではないか

<委 員>

適合性を整理する段階は5段階評価をし、順位付けを行った方が分かりやすい。

<委 員>

順位付けを行うと、例えば2位・3位・4位の差が近くても、差がはっきり出てしまうことになる。

<委 員>

差が出てしまうので、近いものは同順位で示したらどうか。例えば1位・2位・2位・4位・5位といったような形ではどうか。

<委 員>

そのように整理できればいいが、2位と5位の違いは何なのか、3位がない理由はなど整理が難しいと思う。

<事務局>

本日、5段階の評価手法についてご意見をいただいたが、今回の選定は3段階でやらせていただきたい（委員から了解を得た）。

<委 員>

◎が何点、○が何点、△が何点という数値化は、今後しない考えなのか。そうすると、候補地ごとに◎が何個あったと示され、最終的にその中で選ばれていくようになるのか。

<事務局>

はっきりした点数化をしないということで考えていた。

<委 員>

市・組合として重視したいことを整理して、項目の重み付けをお願いしたい。

また、調査結果に客観性を持たせるためには、一般論として評価される数値があるのであれば、それを使うべきである。また、1つの評価基準に対して複数の項目がある箇所については、それぞれ調査したデータを出していただきたい。

また、植物だけではなく、動物についても調査項目に含めて、文献調査として確認をする必要がある。

<委 員>

ボーリングデータは今、様々なところに蓄積されていて、参照できるようなデータも結構あると思う。ボーリング調査しなくても、ある程度、概算整備費の見通しは立つものではないのか。

<㈱エイト日本技術開発>

前回（令和3年度小塚原地区）の調査では、ゼネコンから近隣の橋梁工事のボーリングデータを参考にした見積りを取った結果、地盤改良が必要ということが判明した。

<委 員>

今回、5箇所のボーリングデータが得られそうな見通しは立っているのか。また、調べる際は自社（㈱エイト日本技術開発）のデータを使って調べるのか。

<㈱エイト日本技術開発>

名取市で把握できるデータを提供いただき、ある程度の地盤状況は把握できる見込みである。

<委 員>

土地利用（評価項目）について、その土地を使っている、使っていないだけではなく、どのように使っているかも評価項目に入れる必要があるのではないか。

<委 員>

概算整備費の計上について、地盤改良を含めた本体工事費だけを見るのか、インフラ的な整備費まで見るのか、概算整備費の内容を明確にしておいた方がよい。

<事務局>

インフラのプランや取り付け道路といった費用についても、個別に概算整備費として算出する予定である。

<委 員>

各評価基準の表現で、「適正度が高い」より「適合度が高い」という言葉の方がいいのではないかと。

<委 員>

災害危険性（津波）の評価項目について、浸水深は河川氾濫等による浸水被害というのは想定していないのか。津波のみの浸水深で評価するのかを確認したい。

<事務局>

津波浸水深で考えていた。

<委 員>

河川氾濫の該当地域があるのであれば、何らかの対応が必要になるのではないかと。

<事務局>

5箇所の中に河川氾濫地域に該当している場所もあるため、評価項目として追加する。

（2）今後の審議予定（案）について

資料2に基づき、事務局より説明。

以下、委員からの意見等

<委 員>

予定しているスケジュールが早まることはないのか。

<事務局>

作業状況で前後することはある。

<委 員>

コンサルは、文献調査に入っていないのか。

<事務局>

提供できる資料により調査に着手している。

<委 員>

普通よりも時間がかかっていると感じる。用地選定が遅れるだけ、工事着手が遅れて、処分場の竣工が遅れることになるので、作業を前倒しで進めてもらいたい。

以上